

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和3年度第2回美里町生活支援体制整備協議会
- 2 開催日時 令和3年8月31日（火）午前10時から午前11時40分まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センター 1階大広間
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員 小野俊次会長、渡邊かおり副会長、角田フミコ委員、菅原亨委員
松田正敏委員、伊藤秀司委員、庄司哲広委員、佐々木義夫委員
 - (2) 事務局 美里町長寿支援課 横山太一、菅井晶
美里町社会福祉協議会 永沼威雄、高橋ゆかり、青木真理
- 5 議題
 - (1) 開 会
 - (2) 会議録署名委員の選出
 - (3) 報 告
 - ①いきいき百歳体操について
 - ②地域の支え合いモデル事業進捗状況について
 - ③生活支援コーディネーターの活動について
 - (4) 協議事項
 - ①協議会委員研修について
 - ②くらしのサポーター養成講座について
 - ③生活支援体制整備協議会啓発事業について
 - ④その他

6 会議の公開・非公開の別

公開

7 非公開の理由

8 傍聴人の人数

0人

9 会議の概要

・会議録署名委員の選出

小野俊次会長、松田正敏委員

(1) 報告事項における詳細な意見

① いきいき百歳体操について、事務局高橋より説明	
角田委員	不動堂地区民生委員協議会は13名いるのですが、新型コロナウイルスの影響でいろいろな事業が中止になったり、延期になったりして全体としての活動がまともにできていない状況です。それでも個別の地域活動は継続しています。活動を行うなかで、体力が落ちていて足が痛い、腰が痛い、歩くのが大変だという声が増えてきたので、いきいき百歳体操をやってみよう、お家でもテレビを見ながら足を挙げたりできるのではないかという思いがありました。生活支援コーディネーターの高橋ゆかりさんに相談して、1人1人おもりを購入して、2回高橋ゆかりさんに指導してもらい、まだ身についてはいませんが、行ってみるとしっかり汗をかいて丁度よい運動になるのではないかと思います。
高橋	民生委員さんもいきいき百歳体操を良いねと言ってくれる方が多いのですが、コロナ禍でなかなか地域で取り組むのは難しい状況です。現在取り組んでいる桜木町行政区、中塚3区行政区も同様に、新型コロナウイルスの影響で今はお休みしている状況です。コロナが落ち着いてきた頃から、また積極的に地域に働きかけていきたいと思っています。
② 地域の支えあいモデル事業進捗状況について、事務局高橋より説明	
角田委員	前々から、地域の集まりなどで、地域の困りごとなどを洗い出しはできていますが、実際にどうしたら良いのかというのは見えてきていなくて、お手上げ状態です。なので、1人1人にあまりにも負担がかか

	<p>ってしまうようでは、継続できないので、他の地域のこのようにやってみたら、とても良かったよというようなものも教えて欲しいなと思いました。毎回集まっても、頭を抱えて、どうしようかというのでは先に進まないなと思っています。他の地域でこのようなことをやっているよと様々な意見をもらうことができれば、その中から私たちの行政区にふさわしい、良いなと思うものがあるのかもしれませんが。私の地区は化粧坂なので坂が多いです。高齢者が来てとなると、集会所が東の端にあるので、西の端から東の端まで来るとなると、坂があったり、大きな道路を横断しなければならなかったりということがあるので、本当に難しい地域だなと思います。今はそれに加えてコロナ禍なので、以前はこのままいけば10月中旬にお茶のみ会を再開できるのではないかと話していました。食事は手作りではなく、お弁当を予定していました。8月中には高齢者のワクチン接種が終わると聞いていたので、10月から再開しようと話していましたが、緊急事態宣言となってしまう、どうしようかと話していたところです。</p>
小野会長	<p>どこの行政区も同じ悩みを持っていますね。お茶のみ会をやろうと話になっても、役員が何名かいる中で1人でも今の時期は怖いからやめよう、様子を見ようと言えば、やらないということになります。何かあっては困るので。不動堂4区行政区と同じようにどこの行政区も悩んでいると思います。支え合いは大事だとやっているところですが、もう少し時間を見て、慌てずに取り組むことができると良いかと思えます。町の事業も中止となっていたりもしますので、慌てなくても良いと思います。1人1人危機感を持っている人も多いです。</p>
高橋	<p>今までのように集まって実施する地域の行事は難しいと思います。そこで集まらなくてはならないというわけではなく、発想を変えて、逆に訪問するなど形を変えて、地域のつながりを保つことができると良いのかなと考えておりました。お茶のみ会をしてくださいというのではなくて、お茶のみ会も繋がることを目的としてこれまでも実施してきたと思います。その目的は変えずに、つながりを保つために訪問して、「変わりない？」と声かけをしたりなど、社会福祉協議会としても働きかけを変えていきたいと思っています。</p>
角田委員	<p>昨日も地域の高齢者のお家を訪問しましたが、「あがらいん」と言われたけれども、あがれないですね。おっかないので玄関から1メートルは離れて話すけれど、耳が遠いから聞こえないと言われて、玄関までは入りました。普通ならあがって話を聞いて、その中から今抱えている心配事をすくいだす形になると思いますが、コロナは目に見えな</p>

	<p>いので、自分がかかっているという確証がないですね。いつまでこれが続くのかと思います。</p>
高橋	<p>その中で、できることからやっていくということになるのかなと思います。</p>
角田委員	<p>やはり、寂しいからあがって行けと言われるんです。1人暮らしだから話す機会が少ないので。普段なら雑談してくるけれど、今は二の足を踏んでしまっています。</p>
高橋	<p>そのような挨拶でも良いと思います。何気ない繋がりを保つことができているならば、今は動くことができなくても仕方がないかなと思いますし、地域で孤立している人を無くすために繋がっていくことができればと思っていますので、発想を変えながら動けると良いのかなと思いました。</p>
伊藤委員	<p>生活支援体制整備協議会に参加してから、一番意識するようになったのは、やはり支え合いです。どのように行政の社会を作っていくのかということです。ずっと考えていました。現実的に自分たちが生活している中で、このようなものが最終的なモデルかなと思ったのが、大きい企業に入ると、小集団活動というのがあるのですが、小さいサークルが会社のためにいろいろな活動をするものです。やはり、社会の中でも小集団活動をもじったように、4、5軒が1つのグループになって、そこの人たちが最終的には家庭のいろいろな面倒を見るというのが良いのかなと思いました。なぜ思ったのかというと、私の家のすぐ近くにも1人暮らしの方がいます。自然に目が行くようになります。ごみを出すのを手伝ったりしています。これが小集団活動みたいに、4、5軒が1つのグループになってなんとなく日常生活を見ていくのが、一番良いのかなという感じがしました。ただ、あまりしつこく入るのではなくて、自然の中でゴミ出しがあれば、ゴミ大丈夫ですかと声をかけるとか、そのようなつながりを持った小集団活動のようなことができる一番良い形なのかなと私なりに思いました。シルバー人材センターの会員の方が1人突然いなくなってしまったんです。1人暮らしの方で、最終的には体調を悪くして入院していたということでした。周囲はとても心配しました。みんな見ていないようすごく心配しているんだと、気にかけているんだということがわかりました。それに合わせて近所付き合いを良くしていくことが大切だと思いました。</p>
高橋	<p>そこが本当に地域のお宝だということだと思います。活動ではないですが、普段の繋がりの中で支え合いができているところが本当の支え</p>

	合いなのかなと思います。美里町全体に波及していて、支え合う地域になっていくことが本当の理想なのかなと思います。自然な形での支え合い、「おげんきですか。」の中でも、お宝として紹介しているのが、活動名はないけれど、つながりがあるというところをメインに紹介させていただいております。
伊藤委員	自然な形でできるのが理想ですね。
③ 生活支援コーディネーターの活動について、事務局高橋より説明。	
	(特に意見無し)

(2) 協議事項における詳細な意見

①協議会委員研修について、事務局高橋より説明。	
小野会長	移動研修ではなく、動画の視聴をしながら皆で話し合いをするということですが、日時、場所について委員の皆さんからご意見ありませんか。受ける人数は何人くらいになりますか。
高橋	委員の皆さんと事務局になりますので、20人弱です。
小野会長	研修の場所については、駅東地域交流センターが良いと思いますが皆さんはどうでしょうか。
角田委員	良いと思います。
小野会長	いつ頃がよろしいでしょうか。
佐々木委員	恐らく、緊急事態宣言が9月12日までになると思うのですが、そこを避ければいつでも良いのではないかと思います。安全面を考えて新型コロナウイルスが落ち着いてからというのを待っていたら、いつまでたっても行えないような気がします。みなさんワクチンも打たれたと思うので、感染症対策をしっかり行って実施できればいつでも良いのではないかと思います。
小野会長	佐々木委員からは緊急事態宣言を避ければいつでも良いのではないかという意見がありました。都合がつかない委員の方は無理に参加しなくても良いのではないかと思います。日時については事務局にお任せしてもよろしいでしょうか。
角田委員	緊急事態宣言も9月12日で終わるかどうかもわからないと思うので、様子を見ながら場所を確保してもらえたら良いと思います。
小野会長	事務局にお任せしたいと思います。11月でも12月でも良いかと思えます。
高橋	新型コロナウイルスの影響を見ながらできれば今年中にできることから行っていきたく思いますので、開催のご案内を後日発送したいと思えますので、よろしくお願ひします。研修の内容としては、DVD

	で先進地の事例を視聴して、その後に美里町では何ができるかというのを情報交換したいと思っております。遅くとも令和3年12月中には実施したいと思っております。よろしく申し上げます。
②くらしのサポーター養成講座について、事務局高橋より説明	
小野会長	今、事務局から説明がありましたが、委員の皆さんからご意見、ご質問はありましたらお願いします。 講座について、対象者から参加したい講座の希望を取るといいますか。
高橋	緊急事態宣言が解除されたら、対象者へすぐにご案内を発送する予定です。
小野会長	3つのコースで、43名の方が申し込むことになると思いますが、バランスよく申し込みがあれば良いと思いますが、そのあたりを調整しながらになると思います。申込者がどのコースに決まったとわかるのはいつ頃になりますか。
高橋	申込期限が10月1日までと考えていました。定員を超える人数の申し込みがあったコースについては、別日を設けて、同じ内容で実施できれば良いかと考えていました。申し訳ございません、資料の移動手段検討コース、10月20日の時間を訂正します。午前10時からとなっておりますが、午後1時30分から午後3時までになります。
小野会長	移動手段検討コースの時間が変更ということですか。午後1時30分から午後3時までということですか。 委員の皆さんにも講座に参加してもらいたいということでした。この場で決めてしまってもよろしいでしょうか。
高橋	委員の皆さんにも興味のあるコースに参加していただければと思います。
小野会長	必ず参加しなければならないというものではないと思うので、都合が合えば参加していただければと思います。
高橋	ありがとうございました。地域の担い手の皆さんと繋がるきっかけになると思いますので、ぜひご参加いただければと思います。
③生活支援体制整備協議会啓発事業について、事務局高橋より説明	
小野会長	案が1から4までありますが、啓発事業について、今までは志水先生に講演してもらったり、地域の代表がお宝を発表したり、我々が寸劇をしたりということがありました。ただ、今回も今までと同じようという形では難しいので、どのような形で実施できると良いかという提案でした。無利して実施せず、中止にした方が良いのではないかという意見もあると思いますが、4つの案について委員の皆さんからご

	意見いただければと思います。
佐々木委員	時期はいつ頃になりますか。
高橋	できれば今年中、令和3年12月まで行いたいと思っています。インフルエンザやまた違う感染症も出てくるのかなと懸念されることから、12月中に実施したいと考えておりました。
永沼	時期のことについてですが、駅東地域交流センターは、昨年度から確定申告の会場となっております、年を越えてしまうと駅東地域交流センターでの実施は難しくなってしまうかなというところですね。それを踏まえ、実施するならば年末前に、今年中に実施するという予定にしていると良いのではないかと考えていたところでした。
小野会長	他にありませんか。実際、小学校区単位、中学校区単位となると、主催者側が大変ではありませんか。
高橋	大変ではあるのですが、コロナ禍だからこそ話題になっている繋がり部分を改めて啓発していく必要があると感じておりますので、そのような機会を設けていきたいと思っています。
小野会長	コロナ禍だからこそ小規模で実施していくということですね。今まで1回で終わっていたことなので、何回もとなると大変なのではないかと思ったところです。地区社会福祉協議会とも協力してということだったので、実施できなくはないと思います。果たして皆がテーマとして地域のつながり研修会ではなく、具体的にこのようなことを話し合うから参加してほしいというところを示すことができると良いと思います。
高橋	考えていたことですが、お宝紹介というのは、地区社会福祉協議会の取り組みや行政区の行事などではなく、「おげんきですか。」に掲載しているような名前のない繋がりのところをご紹介できれば良いのかなと思っていました。当たり前すぎて、こんなこと普通にやっているよと言われるかもしれませんが、コロナ禍の今だからこそ大事なのではないかと考えていて、皆さんの資料の中にも木の図があると思いますが、木の図のお宝の部分はこの根っこの部分になると思います。この幹のところは地区社会福祉協議会の事業、行事、自治会の行事だったりすると思いますが、ここの関係は相互になっているというか、矢印が一方的ではないと思っています。幹の部分でできたつながりが、下の根っこの部分のつながりになっていたり、逆の立場もあると思います。改めて、何気ない普段のつながりをもう一度再確認、どのような効果があるのかというところを啓発事業で伝えられたら良いなと思っています。

小野会長	委員の皆さん、どうですか。言っていることはわかります。お茶のみをしていないから紹介できることはないと思ったりもしますが、そこから何か生まれてとても良かったよという成果があれば良いのですが、そのようなものがないとなかなか出てこないかと思います。
角田委員	お茶っこのみは私自身もしていますが、お互いの情報共有がメインであると思います。女の方は噂話が好きですが、噂話だけではなく、「あそこの～さんが救急車で運ばれたそうだよ」とか「施設に入所したようだよ」など非常に個人的な情報を共有するくらいで、それを紹介するとなるとちょっと躊躇ってしまいます。ある程度、会としてやっているものであればよいかもしれませんが。
小野会長	地区社会福祉協議会の介入は持てないのですか。地区社会福祉協議会とタイアップしてやりましょうとなると、役員会をして、今までこのようなことに取り組んできましたが、どうでしょうかと話をし、ではやってみましょうと上がってくれば良いと思いますが、ここからすぐに地区社会福祉協議会とやらせてくださいというのは難しいかもしれません。
角田委員	<p>私の地域では、神社があるので9月に何十年もお祭りをやってきました。秋の大祭、春の大祭です。コロナ禍で2年続けて中止となってしまいました。大人も子供もたくさん集まって歌を歌ったりと長年続けてきた地域の集まりですが、いろいろなサークルも中止、休止の形をとっています。</p> <p>12月までに啓発事業を実施するのであれば、6会場での実施は多いのではないかと思います。3会場くらいが良いのではないかと思います。本当は1会場でも良いと思いますが、1会場にしてしまうと浸透が隅々まで行かないと思います。結局、行政区長や民生委員、地域の役員などごく限られた人しか参加していなかったと思いますので、尚更3会場くらいが良いのではないかと思います。</p>
小野会長	実施するのであれば、3会場くらいが良いのではないかという角田委員の意見でした。
角田委員	私たちが実施する事業は全て中止なので、毎日コロナウイルス感染者数で一喜一憂しています。それで全て中止にしてしまうのはもったいないという感じがします。感染対策と状況を見て実施できると良いと思います。
小野会長	他に意見はありませんか。
菅原委員	啓発事業1会場を分散させて実施するということですが、6会場だと各会場30名ずつということで、中身的には住民の方も参加してもら

	うのが1番理想だと思うので、参加するのが役員さんたちとなってしまふのが気になったりもしました。日程的な部分で12月であれば寒い時期なので6会場だと人数の募集にもとても苦勞するのではないかと思います、中身の濃いものができると思います。ただ、6会場となると大変なので、3会場くらいが良いと思います。
小野会長	ありがとうございました。 質問ですが、具体的な内容として、1、2事例くらい紹介をしてその後情報交換をするという内容ですか。講師を呼んで話をするというのはいないのですか。
高橋	研修のところは今検討中ですが、講師の先生を呼んでの方が良いのか、講師の先生に話をしてもらったものをDVDに撮って、動画を見ながら地域のお宝を紹介する形が良いのか検討していましたが、本当は情報交換ができれば一番良いと思っています。情報交換となると、グループワークのようになってしまうので、そこは感染症対策の観点からは厳しいのではないかと考えていました。なので、お宝を紹介して終了という形にしようかなと考えていました。
小野会長	紹介するお宝を探すのは、高橋ゆかりさんが探すということですか。
高橋	はい、そうです。
菅原委員	そうなのであれば、会場を確定させた時点で中身を検討したほうが良いような気がしますね。6会場だと中身が濃くできると先程言いましたが、3会場では中身は大きく変わってくると思います。
小野会長	3会場で実施するのはどうかという意見が多いです。12月に実施するというので良いでしょうか。
高橋	11月末から12月にかけて実施したいと思っています。
小野会長	例えば、3会場での実施で30名の定員になってしまうと、ほとんど行政区長と民生委員でいっぱいになってしまうと思います。
高橋	駅東地域交流センターは収容人数が多いので定員を増やしても良いと思います。中学校区単位で実施となると、地区社会福祉協議会で言いますと、不動堂・青生学区となります。本小牛田・中塚・北浦学区、南郷になります。会場の個数が少なくなればなるほど募集申込人数を増やすというところです。
小野会長	行政区長、民生委員は参加しないで一般の人たちを選んで参加してもらうのはどうでしょうか。
永沼	そこで、地区社会福祉協議会でも今なかなか事業として活動、役員会を開催するのが難しい状況で、これを役員研修にするというのも1つの案としてあるのかなと思います。町社会福祉協議会と共同で、研修

	<p>事業をどこの地区社会福祉協議会でも実施していると思うので、研修を共催することによって、一緒に実施するのも1つかなと思っていました。そのような形であれば、行政区長や民生委員のほかに役になっている方も参加いただけるのではないかと思います。</p>
小野会長	<p>非常に人数が増えてしまうかもしれません。</p>
永沼	<p>駅東地域交流センターであれば50人くらい、中埴体育館も50人くらいは大丈夫なのではないかと思います。南郷も50人弱くらいであれば良いのかなと思っていました。地区社会福祉協議会にはそのような位置づけで提案していこうかなと思っていました。</p>
小野会長	<p>そのようなものが地区社会福祉協議会の会長に研修の一つとしてどうかという話をしなければならぬと思います。地区社会福祉協議会でも良いとなるかどうかはわからないので、早めに声をかけていただくと良いと思います。研修の一つとして町社会福祉協議会と地区社会福祉協議会タイアップで実施するのも良いと思います。</p>
永沼	<p>地区社会福祉協議会の方からはなんと返事があるかわからないので、確認しなければ何とも言えないのですが、一応中学校区で実施するにしても、どのエリアで実施するのか、1つ2つの地区社会福祉協議会の連合で実施するのか、この協議会で中学校区で実施していくので良いのかを確認して、私たちは動いていきたいと思います。</p>
小野会長	<p>地区社会福祉協議会とタイアップして研修の一環として実施するという提案ですが、皆さんどうでしょうか。</p>
菅原委員	<p>良いと思います。このような話を含めて提案してもらえれば小学校区での実施の方が良いと思います。なおさら地区社会福祉協議会の研修として実施するなら細かいほうが良いと思います。</p>
小野会長	<p>ただ、6会場で実施するのは現実的に難しいと思います。</p>
永沼	<p>日程的なことと会場的なこと、感染症対策を考えれば集まるリスクを少なくするというのが良いのかもしれません。中学校区で実施することになれば、地区社会福祉協議会は連合体ではあるのですが、本小牛田・中埴・北浦の3つが1つのテーマで話をするようになります。小牛田と南郷の2会場ではどうなのかなと思ひまして、せっかく地区社会福祉協議会があるので一緒に実施できればと思いました。</p>
小野会長	<p>難しいですね。いろいろな意見がありますが、中止するという案と、1会場で実施するという案は無しということでもよろしいでしょうか。</p> <p>(良いとの声)</p> <p>2会場での実施、小牛田地区と南郷地区で実施するのも良いのではな</p>

	いかと思います。例えば、各地区社会福祉協議会から10名ずつというように決めるなどそのようなものはどうでしょうか。
永沼	そうですね。地区社会福祉協議会連絡協議会を開催して、趣旨説明をして、了解を得て、進めていく形になると思います。
小野会長	そのような会議を開催しなければならないですよ。その会議でも様々な意見が出てくると思います。この会議では地区社会福祉協議会とタイアップして実施するというを決めるというので良いのではないのでしょうか。
永沼	わかりました。では、実施するという事は決まり、実施の仕方、エリアについては地区社会福祉協議会との協議の中で決めさせてもらうということで、時期についても同じように決めていくということによるのでしょうか。
小野会長	ここでは決めることができないと思うので仕方がないと思います。あとは相談しながら実施していきましょう。
高橋	ありがとうございました。
④ その他について、事務局高橋より説明	
角田委員	ゴミ問題ですが、ヘルパーさんが入った時に、そのお家でゴミ問題に困っているという情報が入ってこないのかわかりません。私の地域には衛生組合があって、困っているということ把握できた場合には、隣近所や自治会で役員が持って行くということが可能なのですが、ヘルパーさんが入っていると困っているという現状が見えてきません。本人も遠慮してしまっているのかもしれない。ヘルパーさんがゴミを出すのに困っているということがあれば、行政区長や民生委員に連絡をいただければ、自治会で相談して支援することができると思います。
高橋	ありがとうございます。困っているかどうかはわからないということですね。
角田委員	そうです。隣近所の方に迷惑をかけてはいけないと思う方が未だ根強くいらっしゃるようです。ヘルパーさんなら仕事でもらっているから頼んでも良いのかなという感覚なのかもしれません。
横山	地域包括支援センターで高齢者の相談を受ける中で、ケアマネジャーさんから「～さんがゴミ捨てる件で困っています」と連絡があります。ヘルパーさんも7時30分までに出勤ができないので、当日の朝にゴミを出すのが難しかったりします。前日にゴミを出すことはできませんかという相談があります。そこで地域包括支援センターから行政区長さんや民生委員さんに相談するということがあります。

角田委員	情報をもらえれば、私たちも地域としてできる限り対応したいと思っています。毎回出なくても、ゴミが出た時に地域の困っている人の分も一緒に持つて行くということが良いかもしれません。
小野会長	佐々木委員の地域ではどうですか。
佐々木委員	私たちの方ではそのような相談は出てきていないと思います。行政区長さんが一人暮らしの方を把握していて、そこをすでにフォローしている人がいるようです。地域の中で困っているという情報さえあれば対応はできると思います。
伊藤委員	昨年冬に、一人暮らしの方から雪かきが大変だからお願いしたいとシルバー人材センターに何回か依頼がありました。それを知った地域の方が、地域の方が自発的に雪かきをしてくれるようになりました。地域の方からしてみると、ニーズがどこに存在しているかわからないということがやはりあるようです。
小野会長	地区社会福祉協議会でも雪かき支援を行っています。この家は一人暮らしだから、あなたとあなたでお願いしますと決めている行政区も多いと思います。基本的には困っている人がいたらできる範囲で助けるというところだと思います。ごみに関しても、隣近所や親せき同士で助け合っていたりするところもあるので、困っているという声が聞こえてこないという現状です。
高橋	行政区にもよると思いますが、前日に出してはいけないというところもあつたりします。前日に出してしまうとカラスにいたずらされてしまうから、夏場は特にダメなんだというところもあります。
小野会長	わたしの地区は前日に出しても良いことにしています。月曜日の朝だと忙しいと思うので、日曜日の午後からという条件で良いことにしています。行政区によって異なるので、大変だと思います。
高橋	事業所でのごみはどうしていますか。
菅原委員	北浦コミュニティセンターは、1週間に1、2袋くらいしか出ないので、事業のゴミなので本当はダメなのだと思いますが、行政区長さんから了承をいただいて、指定のゴミ置き場においています。
庄司委員	遠田商工会は、小牛田事業所に専用のごみ集積所があるので、そこにある程度溜まったら職員が持つて行きます。
渡邊副会長	業者による回収となっています。
高橋	わかりました。みなさんありがとうございました。
小野会長	これで協議を終了します。
	(午前11時40分 終了)

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委員 _____

委員 _____